

令和7年度 事業計画

令和6年の成田空港を取り巻く環境は、円安水準が継続したことや、回復が遅れていた中国からの訪日客数の増加などによりインバウンド市場はさらに拡大しました。日本政府観光局（JNTO）のデータによると、令和6年の年間訪日外国人旅行者数は3,686万人に達し、過去最多だった令和元年（3,188万人）を約500万人上回りました。

この状況を反映し、令和6年度の成田空港の運用状況も国際線を中心に好調に推移しております。昨年4月から本年1月までの航空機発着回数は、国内線は前年同期比1%減の42,485回と若干減少したものの、国際線は同17%増の162,627回、全体では同13%増の205,112回となりました。航空旅客数は、国内線は同4%減の6,264千人と減少したものの、国際線は同24%増の27,527千人、全体では同18%増の33,791千人となりました。

直近の令和7年1月における旅客数をコロナ前の令和2年1月と比較すると、国際線は94%（日本人56%、外国人13%）、国内線は96%、全体では95%の水準まで回復しております。

こうした中、当協会では、これまで本部（総務部、公益推進部、旅客事業部）と環境技術部が、業務の性質上それぞれ別の事務所で業務を行ってまいりましたが、環境技術部が事務所を置いていたNAA横堀建設センターが空港用地拡張に伴い閉鎖されることとなったため、本年1月に第2ターミナルビル南オペレーションセンターに移転し、事務所を統合いたしました。

令和7年度の当協会は、事務所統合によるメリットを最大限に活用し、旅客の増加基調も追い風にしながら、各事業や施策を着実に進め、一つ一つの事業をさらに成長させてまいります。

公益事業については、空港と地域社会との調和促進に貢献できるよう周辺地域対象のイベントを着実に実施していくとともに、保育ルームたんぽぽについては、空港内の立地を活かした特色あるイベントや本年4月にリニューアルする園庭など、園の魅力を積極的に発信していくことによって園児の増加に努めてまいります。

環境関連業務では、事務所統合による業務効率化を進めていくとともに、カーボンニュートラルや空港脱炭素化に関連する業務にも引き続き積極的に取り組んでまいります。

旅客対応業務においては、今後も増加が見込まれる旅客のニーズに適切に対応し、お客様満足度の向上につながるよう質の高いサービスの提供に努めてまいります。

手荷物一時預かり事業では、旅客の回復に伴ってバゲージラッピングやコインロッカーの売上げが堅調に推移しておりますが、更なる増収策としてロッカーの増設を早期に実施いたします。

1. 空港利用者の便益増進に関する事業

(1) 日本文化紹介体験事業

① 日本文化紹介体験イベント

平成 17 年に開始した日本文化紹介体験イベントは、着物の着付け体験や版画摺り体験等を中心に年々開催日数を増やしながら実施してまいりましたが、新型コロナウイルス感染拡大により休止となり、令和 6 年度は NAA からの受託事業として再開しましたが、体験型の当該事業は令和 7 年度以降は NAA グループ企業が実施することになりました。

当協会としましては、今後も新たなイベント等の企画・検討を行ってまいります。令和 7 年度はターミナルにおいて能楽等を紹介するイベントを企画し、関係団体と調整を行い実施に向けた準備を進めます。

② 空港周辺ツアー

成田空港トランジット & ステイプログラム連絡会が実施する空港周辺ツアーについて、セルフ型ツアー及びボランティア同行型ツアーは引き続き休止します。成田空港トランジット & ステイプログラム連絡会の一員として、ボランティア管理等業務、ボランティアへの情報配信業務、海外に向けて SNS (Facebook) による空港周辺観光の魅力を発信します。また、本事業再構築の方向性を検討するにあたり、現行のボランティア同行ツアーの有償化に向けて、各市町のコンテンツを検証するモニターツアーを実施します。

2. 空港と空港関係地域社会との調和促進に関する事業

(1) スポーツ大会開催事業

空港周辺市町の小学生を対象とした野球大会、サッカー大会を開催します。

(2) 英語スピーチコンテスト

空港周辺市町の中学生を対象とした英語スピーチコンテストを開催します。一次審査は動画による選考、二次審査は成田市内のホールにおいて発表及び審査を行う二段階方式で実施します。

(3) 職場体験受入事業

空港周辺市町の学校から当協会が実施する旅客案内業務への受け入れ依頼や講話会等への参加依頼があった際は対応することとします。

3. 空港に係る広報活動に関する事業

(1) エアポートニュース発行事業

エアポートニュースの発行については、令和8年1月号のみ発行します。

4. 空港に係る調査研究に関する事業

(1) 騒音・大気質及び水質等の環境に関連する調査研究を実施します。また、それらの成果を関係学会等で発表するとともに、同学会等の事務局運営に協力し、広く環境対策の向上に貢献します。

(2) 本年8月にブラジル サンパウロで開催される騒音・振動の制御に関する国際会議「第54回国際騒音制御工学会議 (Inter-Noise2025)」において、航空機騒音に関する研究発表を行います。

5. 空港従事者の資質向上等に関する事業

(1) 保育ルーム運営事業

保育ルーム運営事業については、年間を通して利用者に喜ばれる充実した保育運営に努めます。体育教室や英語遊び、SDG s 教育などの取り組みに加え、保護者の意見も取り入れながら、外部講師による新たな教育プログラムも検討してまいります。その他の活動としてはランプセントラルタワー見学等の空港内保育園の立地を活かしたイベントも取り入れるほか、4月にオープンする第2駐車場ビル中央広場の新しい園庭も最大限に活用し魅力度の向上を図ってまいります。また、コロナ禍より低迷している定員の充足に向け、ホームページ上で動画による園の紹介や SNS 等を活用した案内のほか、入園を検討中の保護者向けに定期的に保育ルーム見学会を実施します。さらに NAA グループ会社や空港内事業者への周知、空港内での園児募集ポスター掲示等の募集活動を引き続き実施します。

6. 委託を受けて空港の管理業務の一部を行う事業

(1) 環境業務

① 騒音レベル及び振動レベル

NAA 及び空港周辺市町等が発注する空港周辺の航空機騒音実態調査、航空機騒音に関する各種調査及び解析・予測業務を実施します。

② 航空機騒音監視システム

NAAが発注する統合環境監視システム（航空機騒音・地上騒音監視）の運用及び保守点検業務を実施します。

③ 濃度関連

NAAが発注する空港周辺の大気質・水質に関する測定サンプリング及び分析の支援、各種測定・調査結果の解析業務を実施します。

④ 大気質及び水質監視システム

NAAが発注する統合環境監視システム（大気質・水質・地下水位自動観測）の運用及び保守点検業務を実施します。

⑤ 空港脱炭素等の環境への取り組み

NAAが発注するサステナブル NRT2050 及び空港脱炭素化等の推進に関する実績算定及びデータ分析業務を実施します。

⑥ 自然環境保全関連

NAAが発注する環境影響評価手続きに関する生物の生息域外保全業務を実施します。

⑦ 落下物対策

NAAが発注する落下物防止に関する部品欠落等の調査及び氷塊付着状況の調査を実施します。

(2) 旅客案内業務

NAAが発注する第1旅客ターミナルビル南棟における旅客案内業務を実施します。同ビル南棟保安検査場付近における Face Express 対応業務、出発動線における電動カート運用業務、ファーストレーン運用業務、WHILL（電動車イス）管理業務もあわせて実施します。

(3) 旅客サービス施設運営業務

NAAが発注する第1・第2旅客ターミナルビルリフレッシュルーム及び第1旅客ターミナルビルシャワールームの受付等業務を実施します。

(4) その他の業務

① 「成田空港公式ガイド」の管理業務

NAAが発注する成田空港フロアガイドの在庫管理業務を実施します。

② 「成田空港ハンドブック」の発行

成田空港に関する各種の情報を掲載した「成田空港ハンドブック」(NAA 監修)について、内容を更新し発行します。

③ 談話室の運営

空港従事者の親睦と交流を目的として談話室の運営を行います。

④ 書道・絵画展作品整理作業

NAA が発注する成田空港周辺児童書道・絵画展の応募作品の集計・整理、展示場の設営作業及び表彰式の補助作業等を実施します。

⑤ 案内ボランティア事務局業務

NAA が発注する案内ボランティア管理業務について、活動時間・活動日数を増やして実施します。

⑥ 空港見学ツアーに係るガイド業務

株式会社グリーンポート・エージェンシーが発注する空港見学ツアーにおけるガイド業務を実施します。

⑦ パンフレット等の補充管理業務

NAA が発注するパンフレット等の補充管理業務を実施します。

⑧ その他の業務

NAA が発注する契約参加資格者登録受付業務を実施します。

7. その他協会の目的を達成するために必要な事業

(1) 他空港における騒音実態調査等

国内空港・飛行場における騒音実態調査等の業務支援や騒音予測作業を受託して実施します。

(2) 手荷物一時預かり事業

第2旅客ターミナルビルにおいて、航空旅客の手荷物等の一時預かり、機内預入荷物のバゲージラッピング、スーツケースの開錠を行う手荷物一時預かり所の運営を実施します。また、全ターミナルビルにおいて、コインロッカーの管理運営を実施し、6月には第1ターミナルに3台、第2ターミナルに1台、ロッカーの増設を行います。